

於：福祉センター（谷田） pm19:00～21:00

参加者：三輪・秋井・小山・高野・米田・永瀬・岩本・
堺(初)・堺(義)・中條・相馬(な)

◆配布資料：千葉県環境学習基本計画・・・秋井さんより

- 議案：1. 当日の担当・行政への広報などの確認
2. プログラムの進め方

1.当日の担当：受付：米田・岩本・矢野(猫綿)・緒方

会計：堺(初)

駐車場：三輪・堺(義)・辻川・高野・(RCNさん)・(環境塾さん)

関氏への講演内容確認：長谷川

関氏の接待・弁当：小山

記録・玄関の靴袋：永瀬・相馬(な)

リボン・靴のビニル袋準備：森田

写真：上西・中條

スクリーン・パソコン準備：長谷川

プラカード準備：高野

名簿作成：小山

駐車場係ジャンパー準備（7～8枚）：丹澤

各団体配布チラシ：各団体

谷田・武西地区の紹介(雨の日バージョン)：長谷川

司会進行：丹澤

印西市大塚のビジネスモールの企業へのチラシ配布など：三輪

案内マップ作成（絵地図）：長谷川

※出席確実な方のみ、担当を入れさせていただいています。机・椅子の出し入れなど準備があると思います。また、ケビンさんはじめ色々な方が来られます。みなさん よろしく願いいたします。

※行政へのタウンミーティングへのお誘いは、白井、印西、本埜、印旛、それぞれ環境課、市民課などへポスター、チラシをおいてあるので、それでOKとし、自然体でいく。

2.プログラムの進め方

午前の部：関氏の講演への質疑応答は、一般参加者に遠慮をせずに私たちの率直な質問・

意見を出していこう。関氏への講演内容は硬いものかもしれないが、自分達の保全を進めるための1ステップとしていこう。

CSR(企業の社会的責任)は、ともすると 海外への環境活動など、地球規模で行っているということで責務を果たしているという現状だが、身近な足元の環境保全が地球へとつながっていることを 認知してもらえらる働きかけをしていきたい。

エネルギーフロントランナーにしても、千葉の湾岸の大企業中心の対応に感じられるので、本当に地域の環境保全を持続可能なものにしていくためには、企業誘致よりも民意を醸成することへの素材としていこう。

午後の部：参加者から意見を出やすくするような工夫

アンケートをとるかどうかは、それぞれのチームで考える。

・・・【里山と暮らす】チームから

実際問題として、【里山と暮らす】というのは、里山を残していくためには私たちひとりひとり、あるいは団体が、何をするかという具体的な行動がともなわなければならない。守りたいから何をするか、何ができるか、具体的な行動案を出すとなれば、農家の野菜を買うということしか思い浮かばないが・・・

里山保全、整備などは、ボランティアでやったとしても

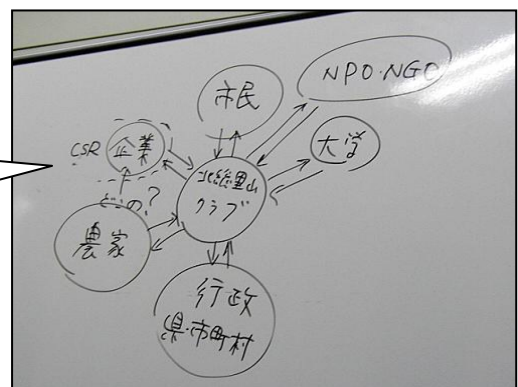
非常に大変な実労になるので 労力に見合う報酬が伴わないと **持続可能な保全**は、むずかしい。

実際、今年 アカガエルの里を守る会でお米を収穫したが、利益に結びつけるのは むずかしい課題。

ルールづくりをしていかないと 地主さんとの折衝に差し障りが出そう。

子供たちの視点をいれていくことが、持続可能な環境保全への道を安定させるKEYではないか

途中経過の板書ですが、三輪さんのデス。初公開!!



次回への懸案事項：

1. 市民活動団体として登録することについて
2. 助成金について
3. 名簿の個人情報管理について

◆今後のスケジュール

次回集まり：12月5日(水)	pm 7時～9時	
12月9日(日)	タウンミーティング	am9:00～pm4:00
12月12日(水)	反省会	